

ひょうごケア・アシスタント制度をご存知ですか

兵庫県では地域住民の方に特別養護老人ホームや介護老人保健施設で介護の周辺業務(配膳・掃除・洗濯・リネン交換など)をお手伝いいただき、施設をサポートしていただく「ひょうごケア・アシスタント制度」を開始しました。

この制度では、1日3時間、週3回勤務などの短時間で自分に適した就労の機会を得つつ介護現場の体験を行うことができます。ぽー愛では現在5名の方が登録され、活動されています。



地域の方のために



地域交流の「場」ふれあいサロン「愛ちゃん」カフェ再開しました

ぽー愛のボランティアスタッフによる、地域交流型サロンもようやく再開しました。感染防止対策を行い、飲食の代わりに、お持ち帰りいただけるお茶とお菓子を用意。スタッフと一緒に脳トレやストレッチなどを交えた体操を行っていただきました。今後も感染予防対策を行いながら実施していきたいと考えています。



地域の方のために

家族の方にも気分転換やリフレッシュは大切です

介護をされている家族様、介護を卒業された家族様、これから介護をされる方、介護に興味がある方のための「介護リフレッシュ教室」。今回は運動療法指導員の谷川原先生によるウォーキング講座が開催されました。ウォーキング講習のあとは、介護をされている家族様が経験者の方々に実際の対応方法などを質問したり、日頃の悩みを伝え解決策を探るなど有意義な意見交流会も行われました。こちらにも新型コロナウイルス感染防止の対策として屋外で開催されました。



家族の方のために

編集後記

コロナ禍でも猛暑は容赦なく続き、各地の自粛モードも長く引きつもとは違う夏となりました。いつ終わるかかわからないこの状態に心折れそうとの声も聞こえてきます。イベントが中止になるなか当施設ではスタッフが試行錯誤を重ねミニ夏祭りを行いました。少人数での静かな夏祭りでした。

たが、利用者様の笑顔を見ることができました。ご家族様、関係者の皆様には面会の制限を設けております。会う楽しみを制限することは大変心苦しく思っております。コロナ終息までもう少し早くご理解ご協力をお願いいたします。

施設長 梶原信子



新型コロナウイルス感染症対策に対し、心温まる寄附をいただきました。心から感謝しお礼申し上げます。ご寄附いただいたマスク等は、有効に活用させていただきます。

コロナ禍の日常をアイデアと工夫で

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、利用者様に少しでも安全にご利用して頂く為に、デイサービスではさまざまな取り組みをしています。送迎車では、乗車前の検温と3密を防ぐために車内に仕切りをしてウイルスの飛散防止を心掛けました。施設内ではテーブルの間隔を広げ仕切りを各テーブルに設置し、マスクを忘れた利用者様には手作りマスクを着用して頂いております。カラオケ好きの利用者様には、1人3曲までにして頂き、間隔を空け着席してフェイスシールドを着用してカラオケを楽しんで頂いております。麻雀もフェイスシールドを着用して頂いております。これからも利用者様に安心と安全の中、少しでも楽しんで頂けるようスタッフも努めてまいります。



新型コロナウイルス抗体検査に協力

新型コロナウイルス抗体検査のキットを用いた疫学調査への協力を行いました。医療や介護の現場で抗体の保有率を調べることを目的とした調査です。極少量の血液を採取する方法で行われました。私たちの協力が、新型コロナウイルス感染の把握に役立ってもらえることを期待しています。



今期のTQM活動のテーマは「排便をスムーズにする!」

TQM活動とは、全員(Total)でサービスの質(Quality)を継続的に向上させる(Management)ことを意味しています。ぽー愛では、TQMによって介護の質を向上させるための手法を身につけるために、各部門単位でチームを組んで、具体的な業務課題の検討と解決に取り組んでいます。

今期のテーマはスムーズな排便を行っていただくための取り組みです。ぽー愛に入所されているほとんどの方が排便困難のため下剤を服用されています。最適な薬剤の量はその日の体調などによっても左右され、薬を使用しても便秘になったり下痢になったり。便秘の場合は肛門で不快な気持ちになったり、下痢をすることでスキントラブルにつながったり、便汚染による更衣やリネンの交換で職員の負担も増大しています。これらのことを改善していくために、看護師と介護士との情報共有を徹底させ、入所者様の立場に立ったオーダーメイドの排便コントロールケアを行うことができれば、状況が改善されるのではないかと考えました。

- ① スキントラブル ② 便の形状 ③ 便汚染の有無
- ④ 排便パターン





ほー愛 の 夏まつり

コロナ禍で、楽しみにしていたイベントが次々と延期、中止になってしまった半年。できないことはたくさんあるけど、できることをやってみようという声かけで、夏まつりを開催しました。感染防止対策のため、人数を制限して毎週末3回に分けて開催するなど手探りのイベント開催でした。利用者様の喜んでくださる姿や笑顔に、私たちが癒やされ、やれることをやってよかった！とスタッフ同士でこれからの私たちのスタンスを再確認したイベントでもありました。

ランチメニューは夏まつり特製のちらし寿司

3日間でのべ50名の利用者さんが参加してくださいました。

夏まつりの開催に多くのボランティアさんがお手伝いしてくれました

密を避けるため、フロアごとに夏まつりを開催

